



世界で活躍する多様なクリエイター達が共鳴し、創り出す  
ヒトが集まり、コトが生まれる、注目エリア虎ノ門にフォルクスワーゲンの新スポット

## 「新虎ヴィレッジ」オープン

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:ティル シェア、本社:愛知県豊橋市、略称:VGJ)は、ヒトが集まり、新しいコトが生まれるユニークでオープンな遊び場『新虎ヴィレッジ』を10月5日(土)にオープンします。またオープニングイベントとして“多様なヒトが集まることで、面白いコトが自然と生まれる”という新虎ヴィレッジの考え方に共鳴した、世界的にも注目されている欧州最先端のテック×カルチャーの祭典「Border Sessions」が、日本初上陸することも決定しています。



### 【世界的クリエイター達が共創。面白い出会いとコトが生まれるユニークな空間が誕生】

『新虎ヴィレッジ』は、“Play On!”をコンセプトに、フォルクスワーゲンがつくりだすヒト・モノ・コトをつなぐ新しい遊び場です。最大の特徴は、訪れた人の創造性を刺激するストリートアートで彩られ、リユースされた廃材で構成された、ユニークでオープンな空間です。

アムステルダム アートシティー「NDSM」主宰で、都市計画のパイオニアである Eva de Klerk(エヴァ・デ・クラーク)氏、「Street Art Today」の創設者でアーティストプロデューサーの Peter Ernst Coolen(ピーター・エルンスト・クーレン)氏、ストリートアーティストの Okuda San Miguel(オクダ・サン・ミゲル)氏、建築家の中川エリカ氏と、世界で活躍するクリエイター4名のコラボレーションによりプロデュースした空間が、集まるヒトの創造性を刺激し、交流を促進します。

新虎ヴィレッジ内は大きく4つのエリアで構成され、期間ごとに様々なテーマのイベントや各企業の体験ブース、ワークショップ、展示会などを開催。既に多くの企業・団体が参加を表明しています。創造性を刺激するアートに囲まれ、人が集まり、つながり、新しいコトが生まれていく新虎ヴィレッジに是非お立ち寄りください。

### 【世界で活躍するイノベーター16名がプレゼン！日本初上陸 Border Sessions の舞台に】

世界でも注目の欧州最先端のテック×カルチャーの国際的イベント「Border Sessions」が日本に初上陸、新虎ヴィレッジのオープニングイベントを飾ることになりました。「Tech Culture Festival」の創設者である Gerrit Jan Van Veen(ゲリット・ヤン・ファン・フェーン)を迎え、日本、オランダ、アメリカ、イギリスなど世界各国のイノベーター総勢16名による、アート、ロボティック、ゲノム、テクノベート、シティなどをテーマにした“世界の先端”を知ることができるプレゼンテーションが繰り広げられる他、登壇者の最新プロダクトや研究成果が展示されます。

## ■空間制作



### Eva de Klerk

1965年アムステルダム生まれのイギリス育ち。プロジェクトブースターであり、「Make your City」の著者。開拓者、文化探究家、施工責任者、開発者など一言では表現できないほどの肩書を持つ。コミュニティと都市や地域の開発、発展に努力と情熱を注ぎ、多くのプロジェクトに携わっている。世界中の都市に存在する“放置された場所”(無人化し社会から存在を無視された場所や、ある種の否定的なレッテルを貼られた地区など)を調査し、様々な人々に実態を紹介しアイデアを集結していくという手法で、新しい可能性を見つけ出し社会に提供することに取り組んでいる。



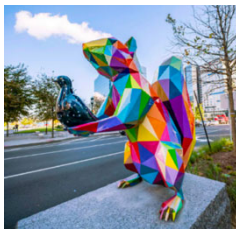
### Peter Ernst Coolen

Street Art Today の創設者兼キュレーター。  
キングスプレーストリートアートフェスティバルの主催者。  
Pakhuis De Zwijger とアムステルダム博物館、  
国立美術館のストリートアート壁画のプロデューサー。  
現在、NDSM アムステルダムで世界最大のストリートアートを展示するミュージアムを建設中。2019年秋にオープンを予定。



### Okuda San Miguel

マドリードの Complutense 大学にて美術学士号を取得。  
1997年に独立後、ストリートでの活動や故郷の廃墟となった工場でのアート作品を製作。ストリートでの活動と並行して自身のスタジオで製作を始め、2009年から、より”個性”を特徴づけるような作品を生み出していく。幾何学的構造と色とりどりのプリントは、本質を明確にしたポップシュルレアリスムとして分類することができる芸術的な作品で、人類と自分自身との関係性を表現している。彼の作品は世界中のストリートやギャラリーで見ることができる。



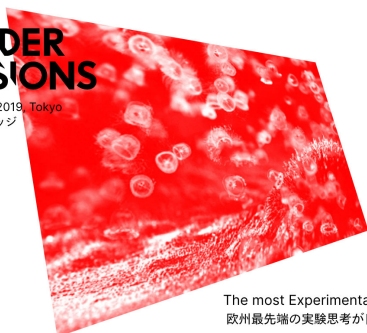
### 中川エリカ

1983年東京都生まれ。2005年横浜国立大学建設学科建築学コース卒業。2007年東京藝術大学大学院美術研究家建築設計専攻修了。2007年~2014年オンデザイン勤務。2014年~中川エリカ建築設計事務所。現在、東京藝術大学、横浜国立大学、法政大学、芝浦工業大学、日本大学非常勤講師。主な作品に「ヨコハマアパートメント\*」(2011年度 JIA 新人賞、第15回ヴェネチアビエンナーレ国際建築展国別部門特別表彰)、「桃山ハウス」(住宅建築賞 2017 金賞、第34回吉岡賞)、「塔とオノマトペ」(U-35 Architects exhibition 2018 ゴールドメダル、伊東豊雄賞 2018)など。\*は、西田司/オンデザインと共同設計。

## Border Sessions

### BORDER SESSIONS

October 5-6 2019, Tokyo  
at 新虎ヴィレッジ

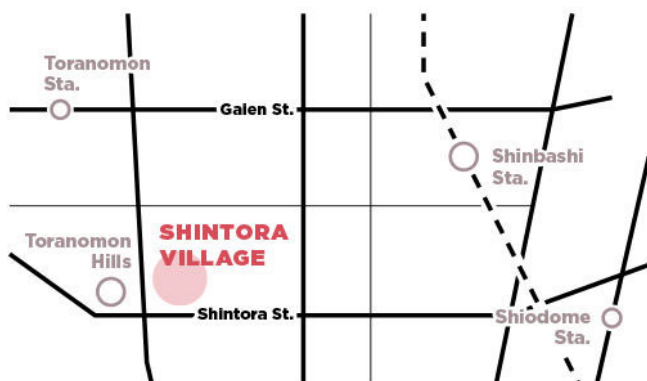


The most Experimental Festival.  
欧州最先端の実験思考が日本初上陸。

2011年より一年に一度ハーグ(オランダ第三都市)で開催される欧州最大規模(最先端)の“社会実験場”として認知されている国際的イベント。世界的前提を挑発しながら“革新”や“解決策”を生みだしつつける活動家たちが集結し、主にサミット、ラボ、展示会を通してコンセプトには止まらない社会実装を前提としたアウトプットを続けている。



## ■「新虎ヴィレッジ」施設概要



住所 : 東京都港区西新橋 2-16-6  
営業期間 : 2019年10月5日(土)~2020年3月29日(日)  
営業時間 : 10:00~18:00  
入場料 : 入場無料 ※コンテンツにより一部有料  
WEB サイト : <https://sp.volkswagen.co.jp/shintora/>